

医療用品（4）整形用品
高度管理医療機器 体内固定用コンプレッションヒッププレート JMDN コード：34003000

K-MAX AAヒップスクリュー 01 （大転子固定プレート）

再使用禁止

【禁忌・禁止】

〈適用対象（患者）〉

- 適用部位もしくはその近くに局所の炎症、膿瘍、発熱、急性の骨吸収の所見など、感染の兆候を示す患者、または赤血球沈降速度の亢進や白血球の増加を示す患者には適用しないこと。[手術により症状が悪化する恐れがある。治療の為にインプラント抜去が必要になる恐れがある。]
- 本製品の材料に含まれている金属成分にアレルギーが確認されている患者には適用しないこと。[手術により当該症状の発生する恐れがある。]

〈併用医療機器〉[相互作用の項参照]

チタン/チタン合金製以外の金属製品と組み合わせて使用しないこと。[異種金属間による腐蝕により、インプラントの不具合等が生じる恐れがある。]

〈使用方法〉

再使用禁止。

【形状・構造及び原理等】

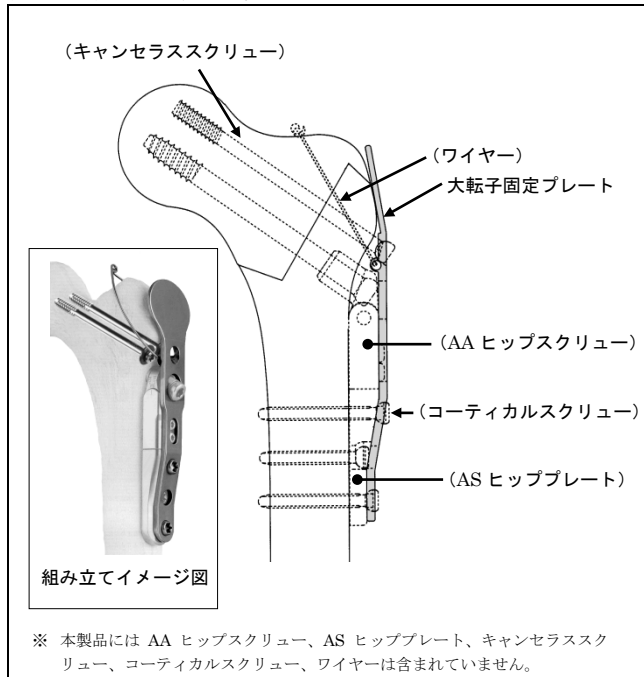
- 本製品は、大腿骨頭回転骨切り術用ヒップスクリューと組み合わせて使用する大転子固定用プレートである。
- 材質は次の通りである。

材質	チタン
----	-----

- ワイヤーを用いて大転子を締結するための貫通孔が設けられている。

〈原理等〉

大腿骨頭回転骨切り術用ヒップスクリューを使用する際、本製品を併用することにより、術中に切離した大腿骨大転子の整復および固定を強化する。



【使用目的又は効果】

本製品は、大腿骨頭回転骨切り術等において切離した大転子部の固定に使用する。

【使用方法等】

(1) 使用方法

- 骨頭部にラグスクリュー部を挿入し、大腿骨にプレートがフィットするよう角度可変機構により骨頭中心部と大腿骨中心軸間の角度調整を行い、プレートを本製品に差し込んだ後、固定用スクリュー（1 本）を用いてプレートを大腿骨に固定する。
- 大転子固定用プレートをスライディングラグスクリュー及びプレートの背面に被せるように配置し（スクリュー穴は上記プレートの穴と重なる）、上記プレート固定にて使用しなかった穴を用いて、固定用スクリューにより大転子固定プレート及びプレートを大腿骨に設置する。
- 大転子固定プレートに設けたワイヤー用穴にワイヤーを通して、ワイヤーにより大転子部の固定をより強化することが可能である。
- 本製品は、原則として骨癒合が得られた時点で抜去する。なお、本製品は骨セメントを使用する必要はない。

(2) 滅菌

本製品は未滅菌であるので、使用前に必ずオートクレーブ滅菌を行うこと。

<参考>

第 16 改正日本薬局方 参考情報 微生物殺滅法 2. 滅菌法
2.1. 加熱法の高圧蒸気法によれば、通例次の条件で行うと記載されている。

保持温度	保持時間
121～124℃	15 分間
126～129℃	10 分間

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- 本製品は下記の製品と組み合わせて使用すること。下記以外の製品については当社に問い合わせること。

製品	販売名	承認番号
キャンセラスクリュー	NRS チタンキャニキュレイトッドスクリュー	20700BZZ00125000
コーティカルスクリュー	NRS チタントルクススクリュー	20700BZZ01025000
AS ヒッププレート	K-MAX AS ヒップスクリュー-01	20900BZZ00080000

- 本製品には X 線テンプレートが用意されている。術前にこの X 線テンプレートを利用し、インプラントが患者の関節の解剖学的形状に適合していることを X 線写真上で確認すること。
- 本製品には専用器具が用意されている。インプラントの組み立て、把持、骨への設置には、専用器具を使用すること。
- インプラントの組み立て、把持、骨への設置は、定められた方法で行うこと。
- 症例に応じた適切なサイズの製品を選択して使用すること。

【使用上の注意】

1. 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

- (1) 以下のような術後管理ができない患者。[インプラントの安定性が得られなかったり、手術後のケアが困難であったりする恐れがある。]
 - ・ 認知症またはその他精神的障害
 - ・ 薬物中毒
 - ・ アルコール中毒
- (2) 神経筋肉系の障害のある患者。[インプラントの安定性が得られない恐れがある。]
- (3) 股関節外転筋の機能不全のある患者。[インプラントの期待される機能が得られない恐れがある。術後脱臼の恐れがある。]
- (4) 骨格が未成熟な患者。[骨格の成熟により、インプラントの骨への固定が得られない恐れやインプラントのサイズが不適切になる恐れがある。]
- (5) 重度の骨粗鬆症などで、骨質が不良、または骨量が不十分な患者。[設置したインプラントが著しく移動する、または骨折を生じる恐れがある。]
- (6) インプラントの機能に過度の期待を持つ患者。[インプラントの耐用年数や必要な術後管理等への理解が得られないことがある。]
- (7) インプラントの固定に影響を与えるような骨欠損のある患者。[インプラントの安定性が得られない恐れがある。]
- (8) 大腿骨の細い症例 [ヒップスクリューのバレル部において、大腿骨が骨折する可能性がある。]
- (9) 骨粗鬆症、骨形成に障害をきたすような代謝性疾患、血行障害のある患者。[インプラントを適正に支持できなくなる恐れがある。]
- (10) 肥満症の患者。[インプラントの緩みや破損が生じる恐れがある。]
- (11) 高度な変形性関節症や過去に施術された骨切り術等により、軸位置決めの際の過誤や製品埋入に妨げとなる疾患の患者。[製品を正常に設置できず、正しい機能を発揮できない恐れがある。]

2. 重要な基本的注意

- (1) 本製品については、試験による MR 安全性評価を実施していない。
- (2) 患者に対し、インプラントの耐用年数には限りがあること、また耐用年数の延長のため運動制限や減量などの術後管理が課せられる場合があることを、事前に十分説明すること。
- (3) 術中は製品の選択、設置及び固定が適切かどうかを確認すること。
- (4) 術後においては、インプラントの設置が術前計画通りであるか確認すること。設置条件により可動域制限が予想される場合は、患者に対し可能肢位や不良肢位について説明するなど、必要な生活指導を行なうこと。
- (5) レコードカードの読取又は貼付により、手術に使用された製品の情報をカルテに記載すること。（トレーサビリティ確保のため）
- (6) 患者に対して、退院後の日常生活についての遵守事項、注意事項等に関して指導すること。
- (7) 骨癒合が確認されない状態での無理な負荷は避けること。[インプラントの折損等が生じる恐れがある。]
- (8) 本製品は、骨癒合の過程で手術部位を安定させるための製品として設計されている。骨癒合後はインプラントの抜去を検討すること。

3. 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

【併用禁忌】（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
チタン系以外のインプラント材料	腐食により、インプラントの強度低下等の不具合を生じる恐れがあるため、組合わせて使用しないこと。	異種金属間の電位差により腐食が発生する。

4. 不具合・有害事象

(1) 重大な不具合

インプラントが外傷受傷時など、過大な応力を受けた場合に変形または破損する場合がある。

(2) 重大な有害事象

- 1) インプラントに用いられている金属材料が、アレルギー反応の原因になることが報告されている。
- 2) インプラント手術の術中および術後に、まれに以下に示す様な有害事象が発現することがある。
 - ・ 血腫、静脈血栓塞栓、肺塞栓等の血栓塞栓症。
 - ・ 心筋梗塞。
 - ・ 神経障害。
 - ・ 感染症。
- 3) 術後、ラグスクリューのカットアウトやインプラントの破損、大腿骨骨幹部骨折により、人工骨頭置換術などの再手術が必要になる場合がある。
- 4) 術後、ラグスクリューが大腿骨外側方向にスライディングすることにより、皮膚を損傷したり、褥瘡や骨髄炎を起こす可能性がある。

(3) その他の有害事象

- 1) 周囲の骨質が骨粗鬆症などにより脆弱な場合は、インプラントの周囲の骨が吸収される恐れがある。
- 2) 術後に偽関節、骨短縮、骨壊死、血行再生障害が発生する恐れがある。

5. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

妊娠中の患者には慎重に適用すること。[骨密度が低下し、インプラントが適正に固定されない恐れがある。体重が増加し、インプラントへの負荷が大きくなり破損する恐れがある。]

【保管方法及び有効期間等】

保管の条件

高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

京セラメディカル株式会社

TEL：0120-923725